



撼 継続して勉強をつゆという習慣をな にみ も感じられ ち 3 14 0 VD. た 時 喜聞を â. 1:

> h 意

〈今年こそ、 あなたも〉

一月の文化祭や芸能祭には、 祭に参 0 0 0 5 最高

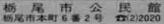
0 12

> ペン字教室 滝ノ下町 間 美恵子

2~3年前から美しい文字にあこがれ、今ま で気にもかけなかった自分の文字をもっとうま く書きたいと思うようになり、ことし、このべ ン字教室に申し込みました。

しかし、申し込んでみたものの、みなさんと 一緒に毎週勉強していかれるかと不安に思いな がらやってきて、とうとう閉講式を迎えました。 受講当初は、字を書いている時に先生がまわ ってこられるとはずかしく、また、講義も理解 できないところもあったんですが、だんだんと 回を重ねるにつれて一週間が待ちどおしくなり 先生も時々ユーモアをまじえて話されるので、 出席するのがとても楽しくなりました。

今では、子ども達にも少しは自慢できるよう な字が書けるようになり、級が上がるのが楽し みになっています。字を書いている時の緊張感 が好きで、最後までやりとおすことができました。 この9か月を通して、少しは字というものを 理解できたと思うと、思いきってこのペン字講 座に参加してよかったと思います。

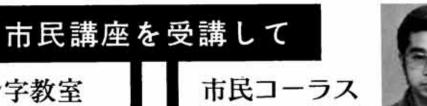




急強は一生税なか

各種市民講座を閉講

さる12月、ベン字教室など市民講座の閉講式をおこ ないました。受講生のみなさんは、多忙な毎日、しか も夜間にもカカわらず熱心に勉強をつづけられ、この 閉講式をむかえられたものです。



新町 稲田 安志



友人にさそわれて、何となく入講してはやく も一年ほどたちます。

最初、教室という言葉を聞き、きっとカタイ 感じの所だろうと思ったんですが、行ってみて 驚きました。教室というより、コーラス・グル ーブという言葉がピッタリでした。

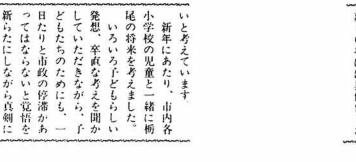
メンバーが仲間同志で助言し合って一曲一曲 をつくり、良き講師がグループをまとめコーラ スをつくる……そんな市民コーラスでした。

メンバーで夏は海水浴、秋はハイキング、冬 はスキーやXマスバーティーなど、集まっては 歌をうたったり合唱したりします。

気分が良いとき口ずさむ歌、また、気分が悪 い時でもうたって憂いを忘れさせてくれます。 私もコーラス、うたうことの楽しさを、そし

て仲間のすばらしさを知りました。 聞くのは好きだけど、自分でうたうのははず

かしい……という人もコーラス教室のメンバー と一緒にうたえば、きっと自分でうたうことの すばらしさが発見できるでしょう。



きるようにすればよいと思い一つづつ作って休日も利用で図書はありません。各地域にし、一般の人達が利用できるの図書館は日曜日は休みになる 館の話があり ましたが、 学校

も大賛成です。 館などを始め文化活動に必要市長 体育施設の整備や図書

なんといっても、市民が毎 しく幕 うこと

市

民の憩の

場所

づ

<

ŋ

テニスコ

トなどは、

樫出地

また、野球場や陸上競技場、

楽

答えました。



金井まゆみ すごくきれいな 整備が必要だと思います。

く行けるためには、もう少し

います。

場所にするため準備を進めてて家族みんなで楽しく遊べる栃堀のダムのまわりを整備し

本田浩太(僕たちは、栃尾のにかがありますね。

く知らないのではないかなあ。良さや栃尾にある良い所を良

ところですから、整備して、

ないと思うからです。 んで知識を深めなければなら の基本は体が丈夫でなければ

にして準備していますが、こ南小学校を上の原に作ること学校を作りました。今年から二つに分けて東小学校と南小と思いますが、栃尾小学校を

そこに、

また、一部は公園なども作り館、資料館などを作ります。 たいと思っています。

のあとが全部空きます。 す。そうすると今の南小学校 の仕事は三年くらいかかりま

人も利用できるプー 大きな体育館や 'n 図書

しかし、

どれ一つ

とって

す

ってまとめたいと考えていま内に栃尾市総合運動公園を作

から急にというのは無理です たくさん金のかかる仕事です ですね。また、大人の野球チ最近ママさんバレーがさかんポーツをということですが、それから、親子で楽しくスています。

佐藤雅人 道院に市民が楽しくらいにして、憩の場所づく 体育施設のことはこれ 見直そう栃尾の 遊歩道などを作ります。またと村の一環としてキャンプ場す。また、とどの森もふるさたりから積極的に進めていま市長 道院の整備は一昨年あ 良さを

藤田



と思いますが、君達が大人につあるということがわかったいることが着々と実現されつように、君達が夢にえがいて藤田 いままでの話でわかる いろ ように、 母

どんなことが必要だと思いませて行きたい。そのためにはこの栃尾に住んで市を発展さ

佐藤雅人君

なってもこの栃尾に住みたい

すか。

将来に備え て環境整備

だけです」

栃尾の産業は繊維

ł2

立派な他の

īĥ

12

市民に安心して働ける職場を

らためてもらいたいことがあただ、市民からも考えをあ

な市外へ行ってしまうといわは市内の良さを忘れて、みんレイ欲しいと思いますね。して欲しいと思いますね。 す。たとえば、秋葉公園を例て行ってしまうということで分良い所があるのに市外に出ります。それは、市内にずい り人影がない。休みのたびにころと思うんですが、あんま 族みんながおにぎりをもってお天気の良い日曜日などに家 市外へ出るということをしな 行って一日遊ぶのに格好なと にとってもわかるんですが

冬になると、 星あゆ子 私

私もそう思います

栃尾には親子づ

れで遊べるところがなんにも

か。 小林俊之 ということではないでしょう一年中利用できる施設がない ってもらうことが多いですが、

君達はどう思い

対抗でやったらどうでしょう。ていると思いますから、親子 ボール・バレーボールをやっ君達もそれぞれ野球やポート ムもたくさんできています。 親子

新しい年には具体化した 新しい年には具体化した が、さる昭和五十年から ただき、 しては市議 ながら、一生懸命改善にさまのご支援をいただきでありますが、市民の皆ことは必至 もに受け、市民生活に暗維が永びく構造不況と円維が永びく構造不況と円 努力 い影をおとし 巣一産業による産業基 いたします しました。

> です 四月からは中学生になるわけで小学校生活ともお別れで、 tą

の市民の皆様のご意見を伺うのためには、できるだけ多くるよう努力していますが、そ 1) ようにしています 楽しく豊かに過していただけ 市は、 そこで、本日は、 まで、市民みんなが毎日を 子どもからおとしよ 子ども達

> 藤田先生 十年、

総務課長 橘

て欲しいということです

から

うしたらよいか。君達は、そらない。そうするためにはど尾に住んでもらわなければなの栃尾に魅力を感じ、この栃ことですから、若い人達がこことは、若い人達の力という ますが、なんといってもこのう話を聞くことがあると思い 話しいただきたいと思います。べきかということを中心におで、将来の栃尾市はどうあるなければならないということ 力が必要です。若い力という栃尾が発展するためには若い それを遠慮なくどんどん市長 にどんな意見を持っているか、の「どうしたら」ということ



二十年先のことを考え iti 長さ が 年

> すが、 できるのかということから聞 それはどう したら解決

浩太君

めのために楽しく運動できる ありますが、学校で練習す がありますが、学校で練習す に体育館やブールが をんが働きづめですが、気体 尾が不景気でお父さんやお母 尾が不景気でお父さんやお母 になったります。 いま栃 になったいう練習を十分や しんが働きづめですが、気体 小林俊之(市民みんなが使えかせてください。 はそういう施設が少ない れば良いと思います。 る体育館やプ ールが早 ないから。 くでき

不足していると思います。公星あゆ子 栃尾には図書館が

私達の使用がかさなって、両施設だけでは、一般の人達とた実してもらいたい。学校の佐藤あゆみ スポーツ施設を 作って大人から子どもまでみ本も少ないし、市立図書館を が利用できるキャンプ施設を 佐藤雅人 道院を大勢の市民 種類も多くしたらよいと思う。 整備してもらいたい。 方とも十分な利用ができない んなが利用できるよう図書の 民館に図書室があり 金井まゆみ 星さんから図書 ますが

うと休みには市外につれて行

僕もどっちかと

いま皆さ れましたね。

体できるのではないかと思っ んからお話のあったことは本近年か六年たてば、いま皆さが、順番に手をつけて、あと

| 過ぎ去った昭和五十二 は小学 過ぎ去った昭和五十二 は小学 しあげます。 しあげます。 しあげます。 しあげます。 しあげます。 しあげます。 しあげます。 しあげます。 しあげます。 しあげます。 しあげます。 てきる したの 長 の 皆さまの 日 の 日 の 日 の ち さ まの 日 の 日 の 日 の 日 の ち さ まの し の 日 会 し 、 し 、 市 日 の 日 日 の 日 二 年 の 年 頭 に し 、 、 日 、 の 日 、 の 日 、 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 三 年 の 年 頭 に し て お か り よ の 日 の 日 の 日 、 の 日 の ろ て と う ろ の て と う ろ ろ の ろ ろ の 日 ろ ろ の て ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ | |
|---|--|
| は小学生ですが、あとわずか ころ(橋総務課長) 本日は 司会(橋総務課長) 本日は | 渡辺市長 |
| スポーツ施設は 文化施設は ない稀総務課長)本日は が見た栃尾、特に君達には限 ない未来がありますが、そ うもご苦労さまです。君達 りない未来がありますが、そ | 子どもらと 新春座談会 |
| に注文してもらいたいと思いに注文してもらいたいと思い | 来 を 語 る |
| ろ不満を持っていると思いま 来どんな栃尾市になって欲し 来どんな栃尾市になって欲し いましょう。 | お話いだだいた方 司助金佐佐小星本栃 会者 件藤林田尾 橋 藤林田尾 橋 市 田 の みさん 君 の の の の 金 市 市 日 の の 名 者 本 市 の の の 合 者 本 市 の の る 名 本 市 の の る 名 本 の の の の の 合 者 本 の の の の の の の ろ ろ 者 の の の の の の の の の ろ ろ の の の の |
| 思います。 思います。 藤あゆみさん | ((|

(RECEIVED OF COMPANY STATE

体を大切にお暮らしください。 寒中お見舞申し上げます

整備を最大の使命としており教育委員会は、教育条件の まして、新年のごあいさつと解とご協力をお願い申しあげの卒市民各位の一層のご理 5 たします。

おります。 常に念頭において事を進めて育委員会に課せられた使命を

ば、教育の目的は達成できな協力し合ってゆくのでなけれを果すとともに、更にお互に

せん。

す

とご協力をお願い申

しあげま

何卒今までと変らぬご支援

す

昨年一年間をふり

かえって

っております。やがて、 歴史と伝統を築こうと張り

栃尾 切

ます。

私共が期待し、

念願す

る方向

ており

ます。

常なご協力ご支援によって、みますと、幸い市民各位の非

出来上るものと私共は期待し小学校に劣らぬ立派な学校が

いば、

と考えているからであり

ŧ

新しい栃尾東小学校の立派な学校の先生方も、児童達も

はかってまいりました。家庭教育、社会教育の推進を本理念に立って、学校教育、

れました。

栃尾小学校の分離

ご期待に答えたいと思ってお立派な学校を作って、市民のかし、栃尾東小学校に劣らぬ

年四月栃尾東小学校が開校さ

すでにご承知のように、昨

栃尾東小学校建設の経験を生

この三者がそれぞれの使命

は、全く感謝の言葉もありましたわけですが、その際の学に伴う第一歩を力強くふみ出

ます。

ます 私共は、教育の重要性と教

かえり

みますと、

昨年は世

力を続けてまいりました。に産地救済のためのあらゆる努院議員に対し、直訴するなど

あげます。

教育委員会は生涯教育の基

であります。 であります。 であります。

び中小企業庁ならびに衆参両と相諮り、通産、労働省およ内繊維産業関連六市議会議長

ご健勝とご多幸をお祈り申し 年頭にあたり、市民各位の 新年おめでとうございます。

ります。

へ着実に進んでおりますこと

員会を設置するとともに、県

おります。

使命の重大さを痛感い

たして

は、繊維産業下してあります。

になり、

いまさらながらその

度目の議長の重責を負うこと市議会においてはからずも二

浅学非才な私が、

昨年六月

を受け、

市政の先行きにも大

きな不安を来たしたことはご

ç

国家社会的には、次代をにな幸せを築く土台であり、また、個人的にはその人間の一生の う大事な後継者を育成すると いう極めて重要な仕事であり 申すまでもなく、 教育は、

ようにしたらよいか、今会均等を具現するには、 の最も頭を痛めている問題で 今私共

ランスを解消して、教育の機 象からくる教育条件のアン

栃尾市の現況、

特に過疎現

15

あります

雄

かりたいと思っております。栃尾南小学校の建設にとりか 今年から、更にもう一校の

野 長

栃尾市教育委員長 仲

新年のごあい 生涯教育の推進を さつ

いまだかつてない深刻な打撃においては基幹産業である繊維産業が構造的不況をまともにおいては基幹産業である繊界的な不況の中で、特に本市 も加わり益々不況のどん底にい打ちをかけられ、輸出不振ず、加えて円高・ドル安の追もかかわらず、事態は好転せ

これからも市

ダム周辺の整備と相挨って川ダムの完成の年です。

題解決の年であり

ます

よう

に

本年こそは、不況克服、

問

幸い本年は、待望の刈谷田

1)

ます。

水と緑と織物の街として観光

ました。

す

致に真剣に取り組んでまいり励条例」を制定し、他産業誘

の政治に転ずることが必要で待っていては駄目です。攻め

に取り組んでまいる所存であ策に議会一丸となって積極的生産調整など市民のための施

とともに、「栃尾市工場設置奨場誘致特別委員会を設置する

これからの政治は、

座して

政の根本的見直し、また、日慶業基盤整備事業の推進、東京など開拓したり、あるい

の推進、 農 、 新 し

ます。 すいさんのなお一層のご 市民の皆さんのなお一層のご

あえぐ結果となりました。

ます。

議会としては昭和五十年に工の進展は望むべくもなく、市もはや、単一産業では市政

ら一歩一歩努力してまいらな民の皆さんのご協力を得なが ければならないと存じており ありませんが、 この不況の中では容易では

げます。 で新年のごあいさつを申しあり、栃尾市議会を代表し謹ん 市民の声が反映される政治に努力 昭和五十三年の年頭にあた 年

頭

に

あたり

栃尾市議会議長

平

林

与一郎

| 5 | i3 • | 1 | • 10 |)発 | 行 | (第 | 3利 | 重郵 | 便物 | 勿認 | 可) | UNI | | KHIDA | KAIIHIKO | ALCI UND | NHINN | | | INTIMAT | INSCID | HAINS | ANCI DAL | II (4 | () | |) Internet | MIKINAN |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|----------------|
| 層努力します。 | てきましたし、これからも一 | おりです。いままでも努力し | 大切だということは、そのと | 市長 安心して働ける職場が | のもいいと思います。 | 利用した土産物の工場を作る | くさん採れますから、それを | 金井まゆみ,栃尾は山菜がた | はないかというんです。 | から多勢人が来てくれるので | ー場を作って宣伝すれば市外 | 化財を見てもらったり、スキ | がありました。上杉謙信の文 | 光地にしたらどうかという話 | を話合ったときに、栃尾を観 | 年生が栃尾の未来ということ | 佐藤あゆみ 私達の学校で六 | いです。 | 働ける職場を作ってもらいた | 本田浩太 みんなが安心して | 作れないでしょうか。 | 市営工場というようなものが | うものがあったと思いますが | を伸ばすために官営工場とい | 星あゆ子 明治時代に、産業 | と思います。 | 他の産業もあればもっと良い | じまんできる産業なんですが、 |
| 子ども会でふるさとの昔から | 金井まゆみ 私達の部落では | うでしょうか。 | が楽しめる行事を考えてはど | が、冬にも、そんな市民全体 | みこし綱引き大会があります | 毎年、九月に秋葉公園でたる | を作ろうと話し合っています。 | アを生かしたいろいろなもの | で各クラスがそれぞれアイデ | 年の冬、雪の芸術ということ | 星あゆ子 東小学校では、今 | ものでしょうか。 | け出すということはできない | この雪によって楽しさを見つ | いうようなこともありますが、 | 雪が降ると通学が大変だと | う思いますか。 | りますが、この雪を君達はど | 司会 栃尾は雪がたくさん降 | | 美しいふ? | | 大人も子どもも | | 君達もお父さんなどから聞 | 現実の問題としては。 | は大変おもしろいんですが、 | りましたが、アイデアとして |
| 郷土を育てるということに結 | と思います。そういうものが | 努力――それが大切なことだ | して何かを作りあげるという | 特に大人と子どもたちが協力 | ではなく、そこに至る過程、 | もこういう行事は結果の評価 | 一つ一つの行事は小さくて | 変うれしいことですね。 | た形で復活していることは大 | それも、子ども会と結びつい | 最近、各部落で復活している。 | なものは大変さかんでした。 | 話のあった賽の神というよう | 市長 私達が子供の頃は、今 | き大会などをやります。 | て、賽の神や体育館でもちつ | ふるさと祭りというのをやっ | 佐藤雅人 私達の学校では、 | います。 | | 美しいふるさとづくりを | ł | i | | 思いますが、君達のお父さん | です。当分この状態は続くと | の産業はいま大変困った状態 | いていると思いますが、栃尾 |
| くなります。 | 生徒に。それだけ責任も大き | 中学生になります。児童から | 市長 君達は、あとわずかで | ました。 | たいへんありがとうござい | かせください。 | い元気な発想をどんどんお聞 | 建設的なご意見、子どもらし | 今後ともこの栃尾を愛し、 | 考になります。 | が仕事をして行く上で大変参 | の意見となり、それは、私達 | 話し合う――それが結局市民 | と話をする、あるいは友達と | 帰って、お父さんやお母さん | の場所でなく、君達が家庭に | ただ、ここだけが話し合い | ます。 | 次の機会にゆずりたいと思い | | でした。まだまだ、いろいろ | 司会 長い時間おつかれさま | | | | | 良くなると思っています。 | やお母さん方の協力できっと |
| 「歴史にみる栃尾(仮称)」の | 作依頼して、栃尾市広報映画 | 市は、BSN新潟放送に製 | | い初日の | | | 市 | i. | | と | 明 | | 曲いた | 19 | | | al. I have | | 5 | 1 完成は五月 | | ?!! 歴史にみる | | | 栃尾には、都会にない豊かな | 非常にむずかしい問題ですが、 | 国的に不況で、今の時点では | めの努力も続けています。全 |
| 映画は、十六ミリ三十分も | 五月頃完成の予定です。 | 新緑の季節を待って撮影し、 | 総丁ピーネ振影分については | 現在、外回いの銀際を限度 | されることになっています。 | 跡と識者の語りを変えて儒成 | 人に焦点をしぼり、徴品。史 | 筆の過中に巻き込まれた栃尾 | な時代の流和の中で、成辰戬 | なった明治維新とこの大き | 修融信会、近代への夜期時と | の你人生して親く心に限す上 | そこで、前民家筋とぬかり | っても肉容が多非意ます。 | いたが変要で | | | | | に一こ期得くなるい | | る栃尾(仮称)) | | | も可能だと期待しています。 | 行えば近い将来必ず企業誘致 | すので、道路など環境整備を | 自然と豊富な水資源がありま |

٠

 \mathbf{x}_{i}

市営の工場とい

j

,お話があ

の行事の「賽の神」・

「賽の神」をやってこふるさとの昔から

びついて行くんでしょうね。郷土を育てるということに結

くなります

健康な体で責任を果す人間

快調に

ので、プリントは二本作成す映画は、十六ミリ三十分も

星 あゆ子さん

俊之君

金井まゆみさん

今日は、

いろいろ参考にな

間になることを期待していま他人にめいわくをかけない人

最初の試みであり、取り上げ市の企画による広報映画は

て、一本、こ

市民会館に保管

る予定です。

進行しています。 クランクインに入り、

る内容については各方面のご

ご利用いただき、

一本は、

貸

各種事業・会合の幕間

E

体に十分気をつけて、

しっ

像化することにしたものです。意見を伺い、栃尾の歴史を映

ひとことで栃尾の歴史と

42

りますので、ご期待ください。用していただくことにしてお 出し用として広く市民から活

かり勉強してください。

豹林

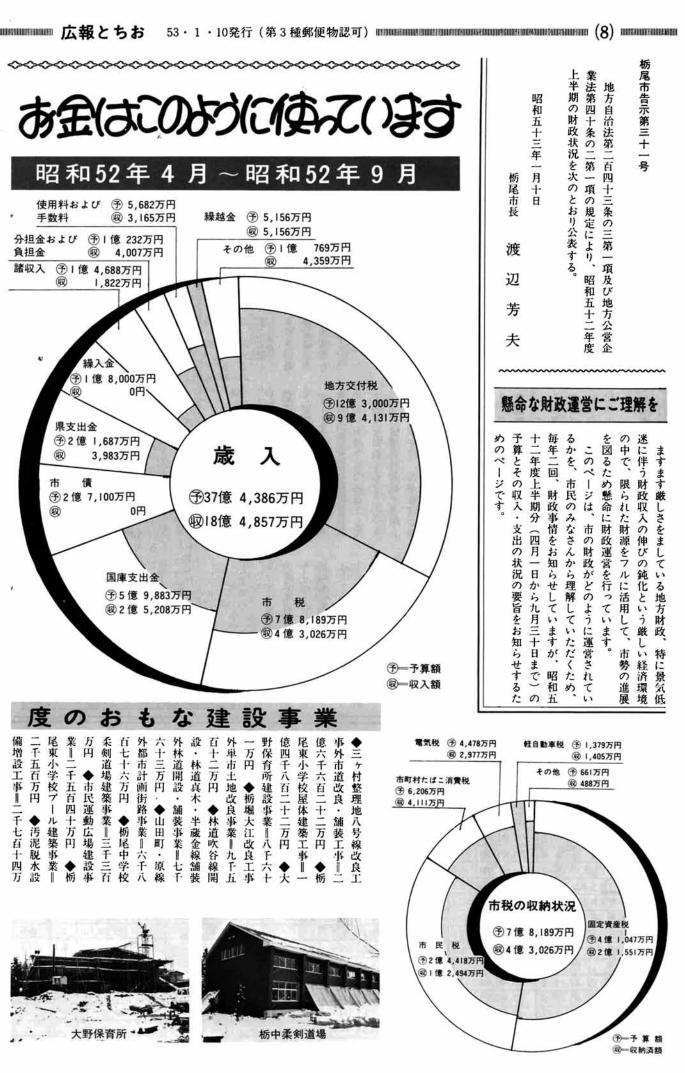
| この条では、それぞれの選 | 第二条(選挙公報の発行) | れています。 | 議員選挙とすることが規定さ | の対象を、市長選挙、市議会 | | この条では、選挙公報の発 | 第一条(目的) | のをお知らせします。 | の条文に規定されたおもなも | 以下各条を追ってそれぞれ | が規定されています。 | 公報発行に必要な基本的事項 | および写真等を掲載した選挙 | 立候補者の氏名、経歴、政見 | 栃尾市議会議員選挙における | 七条の中に、栃尾市長選挙、 | までの七条で構成され、この | (目的)から第七条(委任) | 挙公報発行条例」は、第一条 | 今回制定された「栃尾市選 | The state of the second | | | 市公 | | R 3 | | | | | 制に | | A STATE OF THE STA |
|----------------|--|-----------------------------------|--------------------------------|---|---|---------------|---|--|---|---|---|--|--|---|-----------------------------------|---|--|---------------|----------------------------------|---------------|-------------------------|---------------------------|------------------|---|--|----------------------------------|---|---------------------|--|---|-----------------------------------|--|--|
| | た場合、その超えた部分は選 | れぞれ五百字、四百字を超え | 提出された掲載文の字数がそ | r - 1 | | 見を含めて、市長選挙にあっ | | ればならないこと。掲載文の | て指定する期日に申請しなけ | に掲載文および写真を添付し | 委員会が交付する申請書用紙 | を希望する場合は、選挙管理 | 挙の候補者が選挙公報に掲載 | この条では、それぞれの選 | 第三条(掲載文の申請) | ことが規定されています。 | 除く。)に一回発行するという | 举の一部無効による再選挙を | した選挙公報を選挙ごと(選 | 経歴、政見及び写真等を掲載 | ◇ 審査公報が、 | | ◇ 発行するもので、 | | ◇ 選挙公報は、 | ◇ なりました。 | から、 | ◇ これにより、 | ◇ 決を得ました。 | | 举公 | | ◇ 市選挙管理委員会では、 |
| 第六条(発行の中止) | ます。 | 配布することが規定されてい | に、選挙の期日の前日までに | 登録された者のすべての世帯 | | この条では、選挙公報を、 | 第五条(配布) | されています。 | うことができることが規定さ | 候補者又はその代人が立ち会 | くじには、掲載の申請をした | 会がくじで定めること。この | の掲載順序は、選挙管理委員 | 以上の候補者を掲載する場合 | 文のまま掲載すること。二人 | 用紙に記載された掲載文を原 | 挙管理委員会が交付する原稿 | 載する掲載文はあらかじめ選 | この条では、選挙公報に掲 | 第四条(発行手続) | それぞれ選挙の都度配布されてきました。 | 員、県知事の各選挙、それと最高裁判所裁判官国民審査 | で、栃尾市では過去、衆議院議員、 | らい、正しい一票を行使していただくために | 、その選挙に立候補した候補者を選挙民 | | この条例にもとづいて選挙公報が発行されることに | 本年十一月頃行われる予定の栃尾市長選挙 | O UN PR | おそま、今回の市義会こ司糸列の刑宦を是案し、義会の挙公報発行条例」の制定を市長に申し出て「これを受け | たいということで、「栃尾市選 | から公職選挙法第百七十一条の二の規定による任意性の選 | 次期市長選挙・市議会議員選挙 |
| 場合があるということが規定 | そのまま選挙公報に掲載する | 辞退等した候補者であっても | | いうような場合)に着手した | 桐を始 | 戦順序 | 公報の発行手続(具体的には | すで | したり、候補者を辞退等した | 2 | 日までに選挙公報の掲載申請 | また、委員会の指定する期 | きない事故等の場合。 | 2天災その他避けることので | う必要がなくなった場合。 | 1立候補者が一人で投票を行 | しています。 | 特別の事情とは次の状態をさ | 中止するという規定で、その | あるときは選挙公報の発行を | 0 | の > ♢ | 議 ◇ | \$ | から ◇ | ◇ 栃栃 | \$ | \$ | } | 浅 て 〇 〇 | \diamond | | |
| | r | _ | | _ | R | _ | Å | | 0 | 2 | | 状 | _ | 況 | | | | | | | ~ | 支 | | 拙 | _ | Ø | | 状 | | 況 | | | - |
| | E | - | 17 | | | L | _ | 算 | 現 | | | | X, | 1 | 斉 著 | - | | | , | | _ | 242 | | ŕ | 17 | 現 | | | 攴 | 18 | 济都 | | HIM'' |
| | 1 | 款 | | 7 | IJ | | 金 | 書 | ã | 構成 | č | 金 | 割 | 1 | 構成比率 | 1 | 算現額 する割 | | 1 | 款 | | 別 | | 金 | 割 | ĩ | 構成 七半 | | 企 | 額 | 構成比率 | 47 | 現額に る割合 行半 |
| 2 | | _ | | | ł | ŧ | 763, | 601, | 000 | 20. | 1 | 769,5 | 501,3 | 311 | 20.3 | 2 1 | 00.8 | | 1 議 | | 숲 | 1 | 1 | 62, | 372,0 | 00 | 1.6 | 6 | 1,855 | 5,047 | 1.6 | i : | 9.2 |
| 召扣 | 1 | 市 | | | 5 H | ś | 41, | 387, | 000 | 1. | 1 | 41,3 | 378,0 | 000 | 1. | + | 0.00 | - | 2 総 | | 務 | 1 | 2 | 601, | | - | 15.8 | - | 6,196 | | 15.8 | - | 99.1 |
| 11 | - | 市地 | 方孟 | | 行行 | - | - | 446, | - | 0. | + | 30,4 | | -+ | 0.1 | - | 00.0 | - | 3 民 | | 生 | | 1 | 748, | | | 19.7 | 1 | 5,011 | to increase to | 19.8 | + | 99.5 |
| 11 | 2 | 地 | 車取得 | - | _ | a 1 a . | .263. | 951, | | 33. | - | 263,9 | 1000 | | 33. | - | 00.0 | | 4. 衛 | _ | 生 | - | | 196, | | - | 5.2 | - | 14,38t | Statistics. | 5.2 | 1 | 98.7 |
| 11 | 2 3 4 | 地 自動) 地 | 車取行 方 : | žί | H H | | | | | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 11 | 3,2 | 202,0 | - | 0. | - | 00.00 | - | 5 労 | | 的 | - | R. | | 46,0 | | 0.5 | 1 | 7,288 | 1.100 | 0.5 | 1 | 96.3 |
| 1 1 | 2 3 4 1 | 地 自動) 地 255 | 車取行 方 : 別 安 : | | | 40 | 3, | 202, | | 0. | - | | | 599 | 1. | - | 99.4 | - | | 林 | | 業 1 | | 195, | | - | 5.1 | - | 3,320 | | 5.1 | - | 18.7 |
| 1 1 | 2 3 4 1 6 | 地 自動) 地 将 刃 担 | 車取行 方 3 3 3 金 人 | 之 (で び 交 | 计 相 計 | | 3, 74, | 235. | 000 | 1. | 9 | 73, | - | - | ~ | | 02.4 | | 7. 商 | | I | - | R . | 102. | 131,0 | 00 | 2.7 | 1 10 | 111 926 | | 0.7 | | 98.1 |
| 11 1 | 2 3 4 1 6 | 地 自動) 地 将 担 伊 用 | 車取行 方 変 及 人 | 2 (2 ~ 1 び 交 び 手 | す 科 計 引 引 引 引 行 新 教 本 | | 3, 74, 52, | 235, | 000 | 1. 1. | 9 | 73, | 948, | 131 | 1. | - | _ | | 8 ± | | 木 | | | | 0.1 | 1.0 | 10.0 | - | | 9,934 | 2.7 | + | |
| 111 手能厉官行一 | 2 3 4 1 6 7. | 地 自動) 地 将 担 伊 用 | 車 方 刻金料 庫 | ž (び交 び手 と と | 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 | 40 E | 3, 74, | 235, | 000 | 1. | 9 | 73,1 53,9 598,9 |)48, 1 514,8 | 131 807 | 15. | 7 1 | 00.2 | - | _ | | - | | R. | Sector 2 | 91,0 | | 15.3 | | 1,503 | 3,260 | 15.2 | 2 9 | 97.8 |
| 111 手度厉尾行一 | 2 3 4 1 0 7. 8 | 地 自動) 地 将 担 伊 用 | 車方 3月金料庫支 | 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 | è è | 3, 74, 52, 597, | 235, | 000 | 1. 1. | 9 4 7 | 73, 1 53, 9 598, 9 159, 1 | 948, 1 514, 8 146, 8 | 131 807 528 | 15. 4. | 7 1 2 1 | 00.2 | 1 | 9. 消 | | 防 | 1 | R | 124, | 358,0 | 00 | 3.3 | 12 | 71,503 24,319 | 3,260 9,218 | 15.2 3.3 | 2 9 | 97.8 99.6 |
| 111 戶更房邑行一 | 2 3 4 1 0 7. 8 9. 10 | 地自地称分使国県財 | 車方 劉金料庫 支産 | 2 余 びび手と出 収 | 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 | | 3, 74, 52, 597, 158, | 235, 667, 086, | 000 000 000 | 1. 1. 15. | 9 4 7 2 | 73,1 53,9 598,9 | 948, 1 514, 8 146, 8 | 131 807 528 | 15. | 7 1 2 1 7 1 | 00.2 00.3 04.5 | - | 9. 消 10教 | | 防育 | 1 | | 124, 969, | 358,0 403,0 | 00 | 3.3 25.5 | 12 | 71,503 24,319 51,133 | 3,260 9,218 7,421 | 15.2 3.3 25.6 | 2 9 | 97.8 99.6 99.1 |
| 111 戶更房邑行一 | 2 3 4 1 0 7. 8 9. 10 | 地的彩行使国県 | 車方 劉金料庫 支産 | 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 村 村 村 村 数 4 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 | | 3, 74, 52, 597, 158, 24, | 235, 667, 086, 645, | 000 000 000 000 | 1. 1. 15. 4. | 9 4 7 2 6 | 73,7 53,9 598,9 159, 25,0 | 948, 1 514, 8 146, 8 | 131 807 528 715 | 15. 4. | 7 1 2 1 7 1 | 00.2 | | 9. 消 10教 11災 | 害 | 防育復 | 1 | | 124, 969, | 358,0 | 00 | 3.3 | 12 96 | 71,503 24,319 51,133 17,423 | 3,260 9,218 7,421 2,960 | 15.2 3.3 25.6 0.5 | 2 9 3 9 5 9 | 97.8 99.6 99.1 89.3 |
| 山1月度房尾市一役会計の | 2 3 4 1 0 7. 8 9 10 11 | 地自地称分使国県財 | 車方 劉金料庫 支産 | 2 余 びび手と出 収 | 付付 材 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | 3, 74, 52, 597, 158, 24, 3, | 235, 667, 086, 645, 577, | 000 000 000 000 000 | 1. 1. 15. 4. 0. | 9 4 7 2 6 1 | 73,7 53,9 598,9 159, 25,0 | 948, 1 514, 8 146, 9 589, 7 242, 0 | 131 807 528 715 000 | 15. 4. 0. | 7 1 2 1 7 1 1 1 | 00.2 00.3 04.5 | | 9. 消 10教 11災 12公 | | 防貨復債 | 18 | | 124, 969, 19, 174, | 358,0 403,0 518,0 254,0 | 00 00 00 00 | 3.3 25.5 | 12 96 | 71,503 24,319 51,137 17,423 73,989 | 3,260 9,218 7,421 2,960 9,639 | 15.2 3.3 25.6 0.5 4.6 | 2 9 3 9 5 9 5 9 | 97.8 99.6 99.1 89.3 99.8 |
| 和江年度厉尾市一役会計の伏 | 2 3 4 1 6 7 8 9 10 111 12 | 地自地 称分使 国県財 寄 | 車方 3 金料庫支産() | 2 金 び び び と 出 収 す | 村村 村村 村村 村村 村村 村村 村村 村村 村村 村村 | | 3, 74, 52, 597, 158, 24, 3, 100, | 235, 667, 086, 645, 577, 108, | 000 000 000 000 000 000 | 1. 1. 15. 4. 0. | 9 4 7 2 6 1 6 | 73, 1 53, 9 598, 9 159, 1 25, 0 3, 1 | 948, 1 514, 8 146, 5 589, 7 242, 0 000, 0 | 131 807 528 715 000 | 15. 4. 0. | 7 1 2 1 7 1 1 1 6 1 9 1 | 00.2 00.3 04.5 04.3 00.0 00.0 | | 9. 消 10教 11災 12公 13諸 | 書 | 防 育 復 債 | 1 18 1 | | 124, 969, 19, 174, | 358,0 403,0 518,0 | 00 00 00 00 | 3.3 25.5 0.5 4.6 0.1 | 12 96 | 71,503 24,319 51,137 17,423 73,989 | 3,260 9,218 7,421 2,960 9,639 4,444 | 15.2 3.3 25.6 0.5 | 2 9 3 9 5 9 5 9 | 97.8 99.6 99.1 89.3 |
| 111年度房尾市一役会計の犬 | 2 3 4 1 6 7 8 9 10 11 12 13 | 地自地 將分使 国県財寄機 | 車方 副金料車支産() | 2 金びび手と出取すい | 付 利 利 付 利 利 付 利 利 付 利 利 付 利 利 付 付 利 利 付 付 和 当 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 | | 3, 74, 52, 597, 158, 24, 3, 100, 73, | 235, 667, 086, 645, 577, 108, 000, | 000 000 000 000 000 000 000 | 1. 1. 15. 4. 0. 0. 2. | 9 4 7 2 6 1 6 9 | 73, 3 53, 9 598, 9 159, 25, 0 3, 1 100, 0 73, 1 99, | 948, 1 514, 8 146, 9 589, 7 242, 0 000, 0 542, 9 763, 9 | 131 807 528 715 000 000 519 302 | 15. 4. 0. 2. 1. 2. | $ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 00.2 00.3 04.5 04.3 00.0 00.0 00.0 | | 9. 消 10教 11災 12公 | | 防貨復債 | 1 18 1 | | 124, 969, 19, 174, 5, | 358,0 403,0 518,0 254,0 | 100 100 100 100 100 | 3.3 25.5 0.5 4.6 | 12 96 | 71,503 24,319 51,137 17,423 73,989 | 3,260 9,218 7,421 2,960 9,639 | 15.2 3.3 25.6 0.5 4.6 | 2 9 3 9 5 9 5 9 | 97.8 99.6 99.1 89.3 99.8 |
| 和1年度厉尾市一股会計の | 2 3 4 7 7 8 9 9 10 11 11 12 13 14 | 地自地行分使国県財寄業業 | 車方 副金料車支産() | 2 ← (交手と出取す) | | | 3, 74, 52, 597, 158, 24, 3, 100, 73, 95, | 235, 667, 086, 645, 577, 108, 000, 542, | 000 000 000 000 000 000 000 | 1. 1. 15. 4. 0. 0. 2. 1. | 9 4 7 2 6 1 6 9 5 | 73, 7 53, 9 598, 9 159, 1 25, 0 3, 7 100, 0 73, 1 | 948, 1 514, 8 146, 9 589, 7 242, 0 000, 0 542, 9 763, 9 | 131 807 528 715 000 000 519 302 | 15. 4. 0. 0. 2. 1. | $ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 00.2 00.3 04.5 04.3 00.0 00.0 | | 9. 消 10教 11災 12公 13諸 | | 防 育 復 債 | 18 18 1 | | 124, 969, 19, 174, 5, 2, | 358,0 403,0 518,0 254,0 399,0 862,0 | 00 00 00 00 00 00 | 3.3 25.5 0.5 4.6 0.1 0.1 | | 71,503 24,319 51,137 17,422 73,989 5,03 | 3,260 9,218 7,421 2,960 9,639 4,444 0 | 15.2 3.3 25.6 0.5 4.6 | 2 9 3 9 5 9 5 9 5 9 5 9 | 97.8 99.6 99.1 89.3 99.8 |

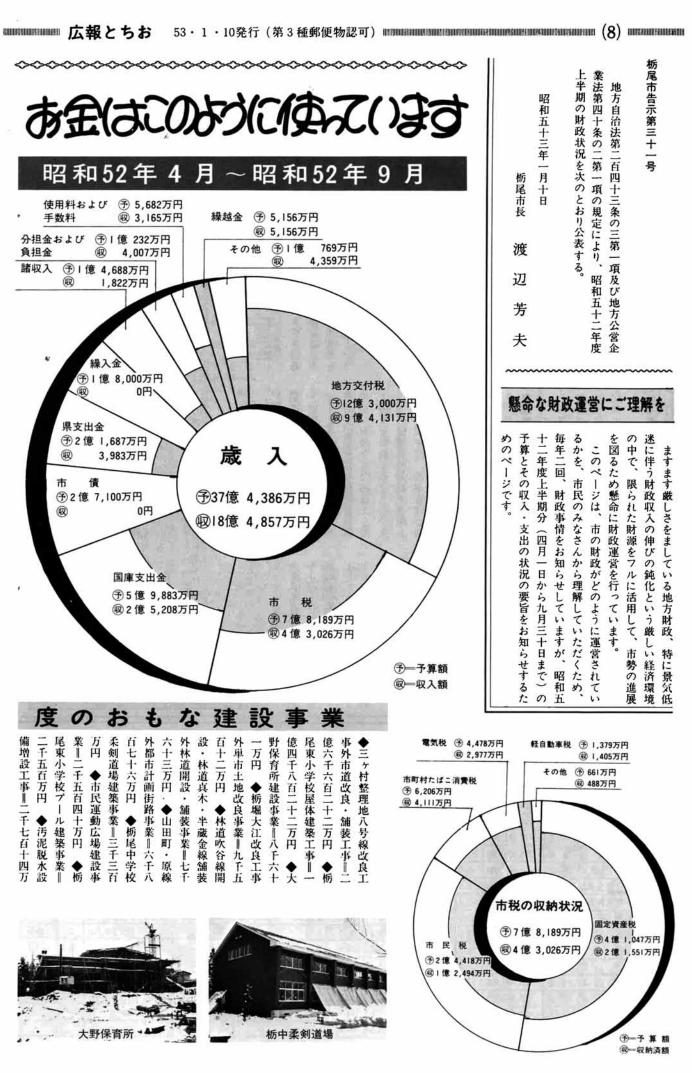
| 、次のとおりです。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 | それぞれ認定・原案可決して閉会しました。 |
|---|----------------------|
| 継橋関長■毎日の「「「」」●●◆◆◆●● | それ |
| 継続審査になったもの 継続審査になったもの | 「愛具長力ら報告カ |
| ◆公債費 百八十八万五千円 ◆公債費 百八十八万五千円 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 | 負 米 |
| | 12 1 |
| (単位) 区分 歳 入 歳 出 | 円) |
| | 伸率% |
| 一般会計 3,813,896,935 3,163,979,132 20.5 3,761,705,679 3,090,436,613 | 21.7 |
| 特別会計 658,617,883 557,372,138 18.2 583,398,447 513,866,280 内国保 653,482,323 553,816,902 18.0 578,384,257 510,768,340 | 13.5 13.2 |
| 内 国 保 653,482,323 553,816,902 18.0 578,384,257 510,768,340 訳 伝病 5,135,560 3,555,236 44.5 5,014,190 3,097,940 | 61.9 |
| 総計決算額 4,472,514,818 3,721,351,270 20.2 4,345,104,126 3,604,302,893 | 20.6 |

| | 広報とちお | 53・1・10発行 | (第3種郵便物認可) | | (6) | |
|--|-------|-----------|------------|--|-----|--|
|--|-------|-----------|------------|--|-----|--|

| | | | 690 | * | | | | | | | | * | | _ | _ | | _ | | |
|------------------|---------------|--------|--------------|---------------|-----------------|-------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------|------------|-----------|---------------|--------------|-------------|--------------------------|---------------|
| 有工の「同 | 甫Eりな | 一般と言う管 | 一受合十戶軍 | | おもな内容 | あり、それご | して、十七日 | 算補正など子 | 行条例など古 | き、一般質明 | さる十二日 | | | 終 | | 101 - 101 | | 会る利 |) |
| ド 言記 八十万円 | | 7 | 子 ◆総務費 | | おもな内容は、次のとおりです。 | あり、それぞれ認定・原案可決して閉会しました。 | 十七日から二十一日まで委員会審議、最終日それぞれ委員長から報告が | 算補正など予算関係九件、請願・陳情など十二件をそれぞれ常任委員会に付託 | 行条例など市条例の制定・一部改正五件、昭和五十二年度栃尾市一般会計の予 | 一般質問がなされたあと、昭和五十一年度決算の認定、栃尾市選挙公報発 | さる十二月十五日招集された十二月定例市議会は、十五・十六日本会議を開 | | | | 昭和五十一年度 | | | 「月日」没有 | 行動力要会 |
| 14 | 市広報映画製作委託料 百 | 一千円 | 一千九百三十七万 | | | て閉会しました。 | 貝会審議、最終日それぞ | 陳情など十二件をそれぞ | 止五件、昭和五十二年度 | 和五十一年度決算の認定 | 一月定例市議会は、十五 | | 位掠会計 | | 度 国呆会计 | | | る報子行う | い民名丁・ |
| 二千八百八十九万七千円 | ●私立保育所措置委託料追加 | 千円 | 託料追加 三百八十九万三 | | | | てれ委員長から報告が | てれ常任委員会に付託 | 及栃尾市一般会計の予 | 疋、栃尾市選挙公報発 | ユ・十六日本会議を開 | | | | 夬算を忍定 | | | 相互可選 著 至 幸 孝 行 务 仮 を 告 気 | こりとり三 |
| 没置条列を次E | 板尾市市立学校 | 方方方で全文 | | ◆公債費 百八十八万五千円 | ◆災害復旧費 三十五万円 | 一千百万円 | ●西谷小学校飲料水工事費 | 一千八百二万一千円 | ◆教育費 | 五百四十二万三千円 | ◆消防費 | 二千九百九十六万円 | ●道路除雪関係費追加 | 三千九十五万二千円 | ◆土木費 | ◆商工費 五十五万四千円 | 一千三百七十二万四千円 | 助金 | ●激甚災害復旧造林事業費補 |
| 来続いた低成長の打開の | E | 四 | 利 | 15 | 1: | 認年 | and the | 定の | 7. | され | - | | ı tž | 1 | た 算 | * | たえ | 兄 | ALL MARKED |
| 長の打開の) | 十八年以 | 計は、昭和四 | 特に一般会 | しました。 単 | ぞれスタート 位 | 六千円でそれ 円) | 三百五十二万 | 会計予算は、 | 病院事業特別 | 三千円、伝染 | 七百六十九万 | は、五億六千 | 特別会計予算 | 健康保険事業 | 百万円、国民 | 十一億七千六 | 計子算は、三 | 年度の一般会 | 昭和五十一 |
| | _ | | | 00220 | 0075 | -019A | | | | | | | | | | | | | |

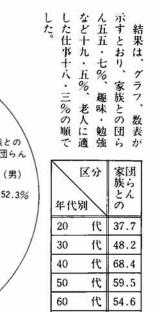






| | W. | | | | (%) |
|--------------------|------|----------------|-----------------------|-------------|------|
| 区分 職業別 | 家 | 老し 人た仕 適 | 趣 強 味な シ | そ の 他 | 分類不能 |
| 専 門 職 | 23.3 | 23.3 | 46.8 | 3.3 | 3.3 |
| 管理職 | 44.2 | 21.2 | 28.8 | 3.8 | 2.0 |
| 会社の事務員 公務員、教員など | 37.9 | 15.0 | 38.6 | 6.4 | 2.1 |
| 工員・店員など | 59.0 | 12.3 | 23.2 | 2.5 | 3.0 |
| 農林業・畜産業 など | 64.4 | 21.4 | 9.3 | 0.9 | 4.0 |
| 自家営業 | 51.1 | 18.0 | 23.3 | 3.8 | 3.8 |
| サービス業 | 27.8 | 22.2 | 44.4 | 0 | 5.6 |
| 無 職 | 59.0 | 21.2 | 12.8 | 3.2 | 3.8 |
| その他 | 35.4 | 18.8 | 29.2 | 6.2 | 10.4 |





情勢は、消費とれた時代もあり

むだな商品のはんら

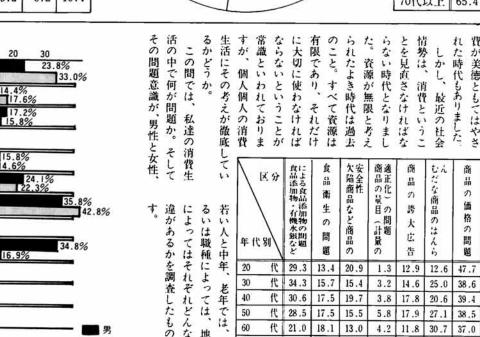
YY

が美徳ともてはや

ž

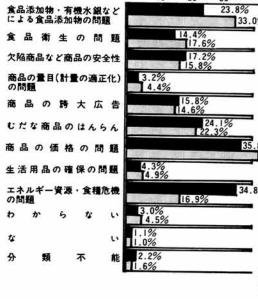
商品の価

「格の問題



60

地あ



宣伝によって買いすぎる

品質表示に注意しない

値段を吟味しない

虚栄心で物を買う

n

類

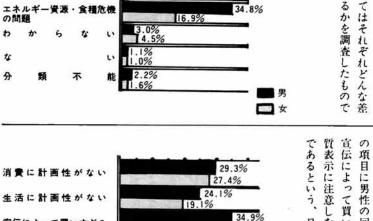
\$

勉強である

者の組織がない

不

10



29.2%

31.6%

□女

16.1%

9.1%

0.7%

5.6%

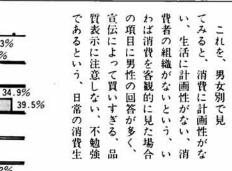
他

能

10.5%

19.1%

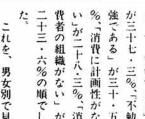
25.2%



くださ

13

を超えていることに注意してのパーセントは百パーセントのパーセントが男は複数回なお、前間と本間は複数回なお、前間と本間は複数回るなお、前間と本間は複数回いということがわ



50

60

代 21.0 18.1 13.0 4.2 11.8 30.7 37.0

70代以上 25.2 12.6 11.9 4.4 13.8 22.0 34.0

| た。二十三・六%の順てし | 代者の組織がない」が | い」が二十八・三%、「消%」に計画性力な | 6、「内とい十回主がよう」が三十・五 | が三十七・三%、「不勉」 | とは、全体では「宣伝に | この結果でわかるこした。 |
|--------------|------------|----------------------|--------------------|--------------|-------------|--------------|
| 1 年代 | ×分 別 | 消費に計画性がない | 生活に計画性がない | 宣伝によって買いす | 品質表示に注意しな | 値段を吟味しない |
| 20 | 代 | 34.3 | 16.7 | 36.8 | 15.9 | 10.5 |
| 30 | 代 | 31.8 | 20.7 | 42.9 | 16.1 | 4.6 |
| 40 | 代 | 26.3 | 21.9 | 33.8 | 24.7 | 5.9 |

代 26.5 25.4 36.8 14.1 7.2

代 25.6 21.0 34.9 17.2 9.7

70代以上 23.3 22.0 32.1 12.6 10.1

| たものです。 | たしこけた | に適し | 老人とい | それぞ | | 問 | 1 |
|---------------------|--------------|--------------------------|-------------|---------------------------|---|--------------------|--|
| たものです。 | 付上る変徴と周生し、 | に適した仕事(3趣味・勉) | う観点から | それぞれ年代の区別なく、(゜) | | - あなたは生きがいを何に求めます。 | 望の多かったのが「生きがい対策の充実」でした。そ第一回市民アンケートで老人福祉対策について最も希 |
| 老した仕事 | 趣味・勉 | 金いに | そ の 也 | 分類不能 | | を何に求め | 生きがい対策 |
| 10.5 | 40. | | .3 | 5.9 | | いますか | 策社 |
| 16.1 | 28. | _ | | 3.6 | | か | の充実」でした。 |
| 14.7 | 12. | _ | | 2.8 | | - | 美につ |
| 23.7 | 13. | | | 1.4 | | (0 t l r) | でして |
| 26.5 | 13. | _ | | 4.2 | | - 2 | た最 |
| 18.9 | 6 . | 3 3 | .1 | 6.3 | | 5 | そ希 |
| 高度日 | 8 8 ± | 離消 | 前が | とも自 | | 問 | 2 |
| 経済 | さません。 | こちい | 話し | ともかく、 | I | | ま最 |
| の一時ナ | • | えうこ | て行 | 、足の | | るの | ますが、 |
| 時代でし | F | ことれ | < | 現代、 | | は | "、消 |
| 高度経済の時代では消 | 向り | 離して考えることがで | 前生活して行くうえで | かく、現代、私達、給自足の時代なら、 | | いるのはどんなことですか。 | 、あなたが今消費者の立場で、消費者生活のうえでいろいろか |
| 生題 | 工糧 | b | な | (%) 分 | | ことで | 「今道 |
| 明島 | エネルギー常 | か | | 類 | | すか | 費えで |
| 生活用品の確保の問題 題 | -問 | 5 | | 10.75 | | 0 | のか |
| 唯保の | 一資題 | ti | | 不 | | | 山い |
| | 食 | -ts | \$5 | 能 | | | でな |
| 3.8 | 37.2 | 0.8 | 2.1 | 0.8 | | | 立場で、最も関 |
| 5.7 4.4 | 35.0 23.1 | 1.1 2.2 | 0.4 | 0.4 | | õ | |
| 3.4 | 21.6 | 3.1 | 1.0 | 1.4 | | (つまニ?) | 心をもって |
| 4.6 | 15.5 | 7.1 | 0.4 | 5.9 | | 2 | っお |
| 6.3 | 17.0 | 12.6 | 1.3 | 4.4 | | | τη |
| お | n | 返額 | た | ŧL. | | 問 | 3 |
| よび数表のと | のです。 | 返しの形で調査したも 観点から 間二のうら | た反省点は何かという | れ消費者の立場から見(「コーンの間では、それぞ)」 | ł | 1 | 100 |
| 数 精表 非 | с. С | 形らで | 点は | 者間ので | | | 題消費 |
| および数表のとおりでその結果は、クラフ | ţ | 調問 | 何か | 立は、 | | | あま |
| こおりで | r ; | しの | 2 | かそれ | | | と思 |
| でラ | , | ちら | 7 | られぞ | | | 題があると思いますが、その問題」消費生活の安定と向上のためには、 |
| 不 | 噓 | 消 | ÷ | (°0) 分 | | | まら向 |
| 勉 | * | 代者 | | | | | |
| 強 | やで | の組 | 0 | 蹞 | | | そたのめ |
| Ţ, | 栄心で物を買 | 消費者の組織がない | 552) (| 不 | | | 間に |
| である | 買う | ない | 他 | 能 | | | 息 |
| | 1 | <u> </u> | 16 | | | | は消費 |

26.9 7.1 20.2 0.4 10.1

25.8 8.2 22.6 1.9 11.3

| 生活用品の確保の問い | エネルギー資源・食 | わからない | ない | 分類不能 | とですか。 | ;今消費者の立場で、最も関心をもって心のうえでいろいろな問題が起きており |
|--------------------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------------|----------|--------------------------------------|
| 3.8 5.7 4.4 3.4 | 37.2 35.0 23.1 21.6 | 0.8 1.1 2.2 3.1 | 2.1 0.4 1.3 1.0 | 0.8 0.4 0.3 1.4 | (011#0) | 最も関心をもって |
| 4.6 | 15.5 17.0 | 7.1 12.6 | 0.4 1.3 | 5.9 4.4 | 3 | って |
| および数長のとおりで | | 返しの形で調査したも観点から、間二のうら | た反省点は何かという | れ消費者の立場から見この間では、それぞ | 問 | 3 題があると思いますが、 |
| 不勉強であ | 虚栄心で物を買う | 消費者の組織がない | S 4 | (° ₀) 分 類 不 | | 題があると思いますが、その問題点は。消費生活の安定と向上のためには、消費 |
| る 27.2 31.1 | 15.1 15.0 | 25.9 26.1 | 他 0.5 0 | 能 3.8 2.1 | 6 | ATT . |
| .2 | 15.1 | 25.9 | 0.5 | 3.8 | 0 ±()) | 点は。 |

も問

3

たみ端に1共み

お知らせします。 今回から三回にわたって調査の結果を表やグロはつかむことができたと考えています。

8.52

0 ラフ

で

0

アンケ-

70ft

10.3%

70ft

10.1%

40ft

21.6%

女

| 口はつかむことができたと考えています。アンケートの方法、用紙のスペースなどいろいろの解し、前政・生活・健康という巾広い領域を考制約もあり、市政・生活・健康という巾広い領域を考知に調査項目の認定をいたしました | The second s | る六十パーセントの回収ができ、ここにアンケートの解をいただき、おかげさまで調査の精度上必要とされ為で選ばれた二千五百十六名の対象者の皆様方のご理今年第二回目を迎えた栃尾市民アンケートも、無作 | 〜 そ の. 〜 | | | |
|---|---|---|-----------------------|----------------------|------------------|--|
|] 答者 | の分 | 析 |) | 不日 | B | |
| 0/t 20/t 15.7% | 日をひきました。 目をひきました。 日をひきました。 日をひきました。 日をひきました。 日本 の に 二 十 代の回答者の低さが 一 本 の に 二 十 代の回答者の低さが 一 本 の と お 一 一 一 代 の 四 答 者 の 低 さ が 一 本 れ ぞ れ ぞ れ ぞ れ ぞ れ ぞ れ ぞ れ ぞ れ ぞ れ で う フ の と お 一 本 し ま し ま し た 。 一 本 し ま し ま し た 。 一 本 し た の と お 一 本 し た の と お 一 本 し た の と お 一 本 し た た の と お の と お 一 本 し た の と お 一 本 し ま し ま し た た の と お 一 本 し た の と お 一 本 し ま し ま し ま し た た の と お 一 本 し ま し ま し た た の と お 一 本 し ま し ま し ま し た た の と お 一 本 し た た の と お 一 本 し た し ま し た た の と お 一 本 一 の と お 一 一 一 の し ま し た こ の し た る の し た た ろ の ら し た の ら ち し た し た の ら し た の し た し た の ら し た し た の ら し た し た の し た し た し た の る し た 一 し し た ろ の し た し た し た ろ ろ の 一 し た し ろ の し し し た ろ の ろ の ら し た ろ の し し た ろ の し た ろ の し た ろ の し た ろ の ら し た こ ろ し た し た し た こ 一 一 し し た の ら し た こ の る ひ し た ろ の ら し た つ の し た ろ の し た こ し た こ つ の ろ の の ら し た の ら こ ろ の し た ろ の ろ の の ら ろ の の の ら ろ の の ろ の ろ の ろ の ろ の の ろ の の ろ の の ろ の の の ろ の ろ の ろ の の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の の ろ の ろ ろ の の ろ ろ の ろ ろ の ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ の ろ の ろ の ろ の ろ ろ ろ ろ の ろ ろ ろ ろ の ろ ろ ろ の ろ ろ の ろ の ろ の ろ ろ の ろ ろ ろ の ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ | そこで、さる昭和五十年の国 この調査では、抽出サンプル 1.9% | | 2,51 答 | · 者 7人 · 率 | |
| アンケート 30代 第 果 18.3% 40代 21.0% | / | | | 社の事務 調査·教員 19% | | |
| | | 2.5% 联業別 国 | 副答者要 | | | |
| 50.10.1 国勢調査 (概数) 48.3% | サ 自家営 ビ ス.79 ス 果 1.2% | λ. | 27人 | 21. | 店員など .7% | |
| | 年 | 代别上 | 上較 | | (01) | |
| ft 20ft 20.2% | 区分年代 20代 | 30代 40代 | 50代 | 60代 | (%) 70代 以上 | |
| 50.10.1 | 国勢調在 20.2 | 17.8 21.6 | 17.1 | 13.2 | 10.1 | |
| (儀数) 30代 17.8% | 標本数 20.8 | 17.3 20.9 | 17.2 | 13.0 | 10.8 | |

15.7

回収数

18.3

21.0 19.1 15.6

10.3



(1)前回の特別弔慰金(三万円)給しているものがいないこと。 遺族年金や公務扶助料等を受 なされる者を含む。)同日現在 続きを行ってくださいあるかたは、お早めに ています。 ています。 自衛官の規律ある団体生活を募集しています。 支給の対象となる遺族 効になります までに取得し(取得したと見る権利を昭和五十年四月一日 援護法に基づく弔慰金を受け によって死亡したことにより、 公務又は勤務に関連した傷病 ▼昭和十二年七月七日以後、 支給の順位。 の死亡者の遺族で、特別弔(2)昭和十六年十二月八日以後 た場合は、次の順位の者。イ三万円の受給者が死亡しア三万円の受給者。 慰金(三 受験資格 を受給した者 玉 てください。すので、請求権の 万円)を受給しな + 八才以上二十 士・通信士など七十種類の国た、自動車整備士・航空整備と退職金制度があります。ま ● 弔慰金の 査を行います。 遇されます。 ▼試験 家免許が取得できます。

|| 自 衛 官 募 集 第三順位 第二順位 番内線二六四番) 婚して 養子縁組した者を含む。) **妻の場合は、遺族以外と再** 昭総金の受給者(戦没者の

第四順位 父母・兄弟姉妹いた戦没者の父母 戦没者と生計関係を有 た戦没者の父母・孫・ ・して

●戦没者と生計関係を有して いなかった戦没者の父母・ いなかった戦没者の父母・

市福祉事 14

中 カ

その他各種手

※く

to

it

市総務課

~

ます。筆記試験(国語・

身体

検数

常時(平日)行って

※請求手続きは、

●遺族以外と再婚した戦没者

第五順位

いないこと。)

す

| 5 | 3• | 1 | • 10 | 発行 | 行(| (第 | 3利 | 師 | 便物 | 加認 | 可) | | | KUUUU | H TINN | | DRAILINN | | INRAI | | HKOUIII | UNCHILIDA | RECEIPTION | • (12) | IRA | | ANUNNUU |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------------|---------------|------------------|---------------|---------------------|---------------------|---------------------|-------------------|-----------------|
| 釣り・溪流釣りなど、対象と | 囲は極めて広く、海釣り・川 | 一口に釣といってもその範 | ――釣の種類は。――― | 在百八十七名と大所帯です。 | る目的で結成され、会員は現 | 通じて、地域の発展に寄与す | 八年に魚の保護と健全娯楽を | 栃尾釣同好会は、昭和三十 | おります。 | 二千人位の人が釣を楽しんで | 年々増加して現在ではおよそ | われておりま市内の釣人口も | ぞくに釣人口一千万人とい | ──栃尾市の釣人口は。── | | | | アレ | | | | Ĩ | | | | ~ | |
| たれ、竿を振っているものだ。」 | らないのに、よく一日中糸を | に「釣れるか釣れないかわか | 釣りをしていると、よく人 | ――釣りのだいご味は。―― | たいと思います。 | 大いに釣を楽しんでいただき | 同好会に入会していただき、 | から釣をはじめられるかたも | 往年の釣り人をはじめ、これ | での釣大会を予定しており、 | ますので、四月には市内一円 | も発足以来十五周年にあたり | なお、今年は栃尾釣同好会 | 釣大会を実施しています。 | 25 | 疠 。 会 | | 1 | 高材 | 木 | 幸 | 会 平 名 | 1 | ープをお聞かせ下さい。 | あなたのまわりのグル | グループを紹介します。 | |
| ですから、釣りのマナーを守 | 釣りはあくまでもレジャー | カアドバイスを。 ——— | ――釣り人に対して、何 | りがありませんね。 | かなど、あれこれ考えるとき | どうか、どのポイントがいい | エサはどれがいいか、天候は | などは、竿はどれにしようか、 | 明日、釣に行くという前日 | ― 釣りの準備は。 ― ― | 境は、なんともいえませんね。 | る中で静かにアタリを待つ心 | 込む快感、朝もやのたちこめ | いながら、竿を満月にしぼり | | → 栃尾釣同好会の会員数は、百八十七日 | ~ のだいご味」といえるんてはないてし | たちこめる中で静かにアタリを待つ心! | ~ んにも考えず、ただ無心に釣り糸をたれ、朝もやの | そので 3、日がな一日何 | 谷世間のわずらわしさから離れて、 | → しょうか。 | ↓ 一つとして、うかんでくるのが「釣り | ↓ 時間を人はいったい何を求めるのてし | く しる部ドの魅力とに しったし何んて | れています。こんなにたくさんの人達 | { 「釣り」。ぞくに釣り人口」 |
| | | | | | をはかっていきたいですね。 | ながら、親睦と釣り技の向上 | 魚の放流、魚の保護をはかり | 場としての釣り場を確保し、 | していただき、市民の憩いの | も多くのかたに同好会に入会 | 同好会としましては、一人で | 増えると思いますが、栃尾釣 | 今後、ますます釣り人口は | れるとよいと思います。 | | 、百八十七名を数える。 ~ | はないてしょうか。 | りを待つ心境は、「釣り 🖌 | 1釣り糸をたれ、朝もやの | いながら、日ガな一日何 | ら離れて、静かな環境の | ~~~ | のガ「釣り」てはないて | おるのでしょうか。その | | さんの人達をひきつけて | 2釣り人口一千万人といわ |
| 円までは二十パーセント・二 | 得の場合、所得金額が二千万 | ん。また、税率は長期譲渡所 | いては、この適用がありませ | かります。短期譲渡所得につ | 除を差引き、残りに税金がか | 所得の場合、百万円の特別控 | 「譲渡所得」です。長期譲渡 | かった費用を差引いたものが | ら、買入代金と売るためにか | 建物や土地を売った代金か | といいます。 | を売った場合を短期譲渡所得 | 年一月一日以降に買った資産 | を長期譲渡所得・昭和四十四 | 持っていた資産を売った場合 | 三年十二月三十一日以前から | る計算方法ですが、昭和四十 | まず買った時期の違いによ | 率がちがいます。 | によって税金の計算方法や税 | た時期や何のために売ったか | きの税金は、その資産を買っ | 建物や土地などを売ったと | 売こたときの税金 | | 建物や土地などを | |
| 八一三三一五二五二) | ▼長岡税務相談室(☎○二五 | 三五一二〇七〇) | ▼長岡税務署(☎○二五八一 | ц. | か税務相談室にご相談くださ | る場合は、まえもって税務署 | の住んでいる建物や敷地を売 | う例が数多くあります。自分 | なければならなくなったとい | していない多額の税金を納め | られないことがわかり、子定 | てから、この特別控除が受け | 受けられるものです。譲渡し | の要件を満たした場合に限り | すが、この特別控除は、一定 | 三千万円の特別控除がありま | 物やその敷地を売ったときは、 | なお、自分が住んでいる建 | 十パーセント以上になります。 | 渡所得よりも税率が高く、四 | ます。短期譲渡所得は長期譲 | で計算され、税率も高くなり | 千万円を超えると特別な方法 | きの税金 | いの名言 | などを | |

.

* 167

******** 広報とちお

年間計画に基づいて年五回、 など、もっぱら川釣り・ 開は極めて広く、海釣り・ 開は極めて広く、海釣り・ 開は極めて広く、海釣り・ 開います。私達の会では し、たとえば五十嵐川水系 や笠堀ダム・黒又ダムなど、 対象と によってもその範

かな環境の中で孤独感を味われていると、よく人に「釣りをしていると、のがないのに、よく一日中糸をらないのに、よく一日中糸をしているものだ。」と思われがちてすが、一説によるとその逆ですが、一説によるとしていると、よく人にないした。」ともいわれています。 それはともかく、釣りのだ。」 それはともかく、釣りのだ。」

発行していますので、利用さ県の漁業組合では、年間券を規の入漁料を払ってください。には、入漁料を払ってください。

よる

特別弔慰金の請求期限

日までです。

請求しないと時

は、昭和五十三年三月三十一

「昭和五十年度改正法」に

求手続き

はお早

め

に

のです。なお、県内の釣り場 のです。なお、県内の釣り場 のですから、釣りのマナーを守 ですから、釣りのマナーを守 ですから、釣りのマナーを守 したいも したいも

64

特別弔慰金

L

0

請

Ň



| すい(日口:五二一六七一七 | 年金制度全般について。 | | | ٠ | | 税務署 |
|----------------|---------------|-----------------|---|---------------------------------|--|--------------------|
| 「ハイ県くらしのダイヤルで | 加入・付加保険料など、 | | う 回 や 相 相 す | だ 70 合 る | 、 こ 貝 | 務 売 の |
| す。ぜひご利用ください。 | 障害年金の手続き、任意 | | 2 にま栃苦談談。待い、た尾情は内専ち | かさ)せたかけ、いなかめけ | ま税とは審 | 岐関係した 密か |
| などの情報提供を行っていま | 年金の通算、老齢年金・ | 1 | く 1 に 市 を 無 容 門 の | い。 ・お、 ・あ・ い、 い | 渚 :あり :分計 | のにり、 |
| ●消費生活に関する条例。 | ▽相談内容 厚生年金と国民 | 1 · 酒酒 | い 邑 おけでつ相 | (長電たっ |)ま 正明 | 出版 売 LE話 |
| ●季節的な商品情報。 | ▽ところ 市役所市民課 | 人 | れ税いる、い談 | 岡 話 に よ ん | せん | 物を 上い で世 |
| ●誇大な景品付き販売の事例。 | ら午後五時まで | 51 | ご相、談名のが | 税務こよは社社 | L。 注持 | · 不 ザや 引き |
| ●加工食品の価格動向。 | 午前八時三十分か | 音 徐行 | 注談税日で秘許 | 署 2 る営 、 乱 を | またって | 当に 取ら 出す |
| ●消費生活の相談事例。 | ▽と き 二月二十四日 | 11 | くてい設ではん | 025 業 手う 切・ | :. 1 : | :高v 先々 - ^(|
| テレホンサービスの内容は | | ٨ 2 1 | ごよいすき長の | 8- 8- ち谷 たを って | 光務 ます | い値などこせ |
| 供しています。 | 国民年金定例相談所 | | い毎のいす守い | 35- の間 確認 | 署のから | 段で 営業 税利 |
| しに役立つ消費生活情報を提 | | | 1談す。、まを | -20 引い 思す 文め | D職 | で版 終上 勝署 |
| は、消費者のみなさんのくら | この用紙が届きましたら、 | | | A LOUGH AND | A CONTRACTOR OF | |
| 新潟県消費生活センターで | されます。 | おしらせ | らせおしらせ | おし、 | おしらせ | おしらせ |
| | 庁から受給者あてに直接郵送 | | 「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」 | Sector Street | 14. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. | |
| のご利用を | 十五日ころまでに、社会保険 | | は月割により減額されます。 | い限り、国民健 | いき 険に届出がな | 上の申し出があったとき |
| | 現況届の用紙は、毎年一月 | 番内線:一四:一番) | い。この届出により、保険税 | その旨を国民健康保 | いても、その | -六月三十日まで。 |
| ラレオンサーヒフ | | , | 367 | 1 | 1 | |

 $53\cdot 1\cdot 10$ 発行นะแกกแหน่แนหน่อหนอหนอหนอหนอทางการและแกกหนอหนอหนอทางหนอหนอทางหนอหนอทางห

| テレオンサーヒフ | | オーナさい (1) 月 - ユー | 3ービュリット たい・ナン | | |
|---------------|----------------|--------------------------|---------------|---------------|---------------|
| - / . / + | 払いをするわけです。 | はください。11:一部二一 丘一 | 窓コこお早かこ届出てくごさ | こ加入され、保険科を納めて | 加入の契約は、昭和五十四 |
| | いて、向こう一年間年金の支 | 市保健衛生課国保係におたず | と印かんを持って、市民課の | 会保険等(日雇い健康保険) | ●昭和十六年四月一日以降に |
| 年からになります。 | この現況届があったものにつ | ※くわしいことについては、 | かと、国民健康保険の保険証 | 冬期間出稼ぎ先の事業所で社 | 十三年十二月三十一日まで。 |
| 年は現況届の必要はなく、来 | ことです。社会保険庁では、 | ようにお願いします。 | 又は事業所の証明書のいずれ | 国民健康保険の被保険者で、 | 前に加入の契約は、昭和五 |
| まだ一年にならない人は、今 | である社会保険庁へ通知する | 続きをされることも忘れない | 入された場合、その保険証か | | ●昭和十六年三月三十一日以 |
| なお、年金を受けはじめて | 受けて、老令年金の支払い元 | 早めに国民健康保険に加入手 | このため、社会保険等に加 | 0 1 0 1 | 内に申し出てください。) |
| さい。 | していることを市長の証明を | 業所を離職されたときは、お | になります。 | みなさんへ | 約を消滅させる旨、次の期間 |
| 円切手をはって投函してくだ | 給者が確かにその住所に現存 | なお、春先に出稼ぎ先の事 | 康保険税も納めてもらうこと | 出移き者の | 特別一時金の支払い(保険契 |
| で、市民課で証明を受け二十 | 『現況届』というのは、受 | | のないというないという | | ることにしています。 |
| てのハガキになっていますの | が必要です。 | | | | えて特別一時金をお支払いす |
| 用紙がそのまま社会保険庁あ | 度「国民年金受給權者現況届」 | やい。 | 約の被保険者が死亡した場 | 者)に特別一時金を支払いま | のとおり保険金の支払いにか |
| 持参してください。現況届の | を受けているかたは、毎年一 | 寄りの郵便局におたずねくだ | ●分配金繰上支払金~保険契 | されていない場合は、被保険 | の簡易保険契約について、次 |
| し、押印して市民課の窓口へ | 令年金(または通算老令年金) | ※なお、くわしいことは、最 | 相当額 | 受取人(保険金受取人が指定 | 和二十四年五月三十一日以前 |
| 必ず正しい住所・氏名を記入 | 国民年金を掛け終って、老 | 六千円) | ●保険金繰上支払金~保険金 | に保険契約は消滅し、保険金 | 郵便局の簡易保険では、昭 |
| 1 7 10 | | て定める金額(二千円から険金額と契約年度を考慮し | の合計額です。) | 指 置 | 朱另 |
| ナられまけ | 老令年金が受けられません | ●特別付加金~保険契約の保 | 次の保険金繰上支払金、分配 | | 5 |
| | 現況届をしないと | 額 | 特別一時金(特別一時金は、 | ~ 伯 阿 に | さい 館 多 |
| | | 合に支払われる配当金相当 | す。 | ド食 | |



県陸運事務所長岡支所開設 ガスと安全《ゴム管》 おし 新潟県陸運事務所では、下記により 長岡支所を開設いたします。 5 ◇お宅のゴム管は安全ですか? これは、県内の自動車数の地加に対 せ 県 処するため、従来長岡に所在していた ◇忘れがちなゴム管を点検してみましょう! 陸 車両第2課(長岡検査所)を長岡支所 運 に改め、おもに上越・中越地区に所在 お 事 する自動車について、従来の検査業務 L 使いかたと注意 5 ゴム管は、熱や油に弱いので、いつも熱や油 ●長いゴム管は使わないように 務 のほかに、登録業務も取り扱うことに がかからないように注意しましょう。 せ したものです。したがって今後は、栃 所 気 て、ガスを止めてしまってたいへん危険です。 尾市に所在する自動車については、長 江水 隣室から引いてくるなどゴム資を長くして使う 苦行油 間支所で登録申請ができることになり ようなことはやめましょう。 ます F お 0 0 また、県自動車取得税の申告書の受 迪 付等の業務が取り扱われます。 L G ●ヒビ割れに気をつけて 古くなったゴム管は、弾力性を失っていたり、 業務開始日 昭和53年2月20日 ら ヒビ割れたりしますから早めに取りかえましょ ●必ず安全パンドをつけてから う。また、ビニール資など弾力性の弱いものは 絶対に使わないようにしましょう。 長岡市摂田屋町字外川 せ (器具コック)の赤線までしっかり差しこんで、 00 陸運事務所 2643番地1 toria 10,0 ☎ (0258) 22-1131 場所 CB 長岡市摂田屋町字外川 お 自動車税事務所 しら ☎ (0258) 22-1134 せ ビニールショ 市 (Im) ita ... = k. お年玉賞品の引換えは早目に お お年玉つき年賀ハガキのお年玉くじ ゴム管の取りかえの目安 L * 5 の抽せん会が、1月15日に行われ、当 場所や条件により違いますが、台所や風呂場は2年か 郵 せ せん番号は全国の郵便局の窓口に掲示 ら3年・室内用で5年が使用限度ですから、現在ご使用 便 されています。お年玉賞品の引換え期 中のゴム管が使用年限を過ぎたら取りかえることが安全 局 間は7月19日までです。引換えは、最 です。 寄の郵便局で早日にお受取りください。 □、踏建て=>、間×十五間、 ●、「踏建て=>、間水堂瓦ぶき二階建て 事業により買収した、旧柄尾 ●「階建て ●「階建て します 部 とこ ٢ 時 長い伝統を持つ、 「かるた大会」 市民かるた大会 建 門ろ き から午 物 。ぜひご参加ください ① 一般,高校: 杨尾市公民館 0 ij 後四時 払 十二日间午前 11 を開催 首人 下 生の部 げ 1.1 L ň 1: ・平屋=六間×三間)の払い ・平屋=六間×三間)の払い ※ 主 参加料 でに市公民館に申し込む 一月六日明 * 詳細は、市公民館へ、当日持参ください。 ×4'i 学中 生 ①小学生低学年の部 下三年 の部 四年 三百円(社食代含む 生. ň 11: ③小 小介会 六年 ŧ



| デート・レテト シー・テトン。 | : - |
|-----------------|------------------|
| 放送時間 每週日曜日午前七 | 九日・十六日・二十三日・ |
| 六日。 | 六日・二十三日、三月二日 |
| 日・上三日・十九日・二十 | 放送日 ・・リ・・ ロ・ルロ・十 |
| 十九日・二十六日、三月五 | 放送局名 BSN |
| 放送日、川五日・十二日・ | すか?――防災ミニ百科」 |
| 放送局名 NST | メインテーマ こごぞんじで |
| の防災 | 、助としてください。 |
| なたは?――くらしのなか | なさんもご覧になり、防災の |
| メインテーマ そのときあ | キャンペーンを行います。み |
| 時二十五分から二十分まで | NST)を通じて防災対策の |
| 放送時間 每週木曜日午前十 | 県では、テレビ(BSN・ |